

追 加 意 見

意見
<p>○足柄上郡の玄関口としての交通の利便性 ⇒鉄道、バス、車でしたら高速道路の I C が近くということ</p> <p>○広大な自然の宝庫で水もおいしい。</p> <p>○総合病院も町内に有し中学卒業まで医療費免除 ⇒子育て世代の私も含め助かっております。</p>
<p>○松田町の環境の良さ、交通の便利さ、変化に富んだ地誌的有意差を書くのは当然だが、綺麗事だけ書いたのでは基本条例の意味はない。</p> <p>○かつて郡都であり、商業や祭りや文化の中心でありながら、今ではそのかけらもなく、生活必需品を扱う激減はすさまじく、中心街は駐車場と飲み屋が充ち満ちている。そのため、高齢者ほど生活しにくくなり、商店街の計画的設置は緊急の課題である。商店街の充実無くして人口増は有り得ず、今のままでは国の言う地方自治の消滅から逃れることはないであろう。</p> <p>○これは自動車に頼る生活様式の変化に伴う道路中心の公共事業によることも多く、日本全体に共通する課題ではあるが、町の政治・行政・町民にあきらめの気持ちが強く、現状を砕いてきに解決する意気込みを失っている。</p> <p>○住民基本条例は、行政・議会・住民がまちづくりをするための役割分担をするものとの考えが一般的だが、そのような形式論ではもう間に合わない。主権者である町民の生の声を聞く場をいろいろな形で多く設け、協働して実現に邁進すべきである(そのためには情報共有、共聴、公開討論等が必須である)。</p> <p>○住民基本条例前文は、そのことの切実感を強調し、一人ひとりがその主体的責任を負うものであること、そして行政や議会に任せきりになりがちだった地方政治から、住民の、住民による、住民のための政治への自覚を鼓舞しなければならない。</p> <p>○町村合併の話が又起こっている。いずれは合併しなければならないかも知れない。だからこそ、この住民基本条例で、「協働」の仕組みをしっかりと作っておかなければ、松田はみじめになる。どう住民の声を、集約するか、それが力になる。</p>
<p>富士を望む、豊かな緑と清流のまち。</p> <p>私たちのまち松田は、古くから足柄の交通の要として多くの行き交う人々とふれあい、</p> <p><u>おもてなし</u>してきた人情味あふれる人々が住まう町です。</p> <p>私たちは、先人から受け継いできた豊かな自然とここで育まれてきた知恵と(おもてなしの)心を未来を担う世代に伝え、守り、育んでいかねばなりません。</p> <p>すべての町民が<u>松田町に暮らすことにプライドを持ち、地域を愛しむ心を共有できるまちづくりを進めていくことが求められています。</u></p>

私たち松田に暮らす者たちが、自分たちで考え、できることを探し、持ち寄り、自分たちのまちづくりのために積極的に行動し、参画することで、私たちのふるさと松田をゆとり楽しむきらめく町として未来を担う世代に渡すために、この条例を～

この町で育っていく子どもたちの原風景がこの町のどこかであってほしい。という祈りをこめて～